

## 13 簡易水道事業会計

令和3年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度への移行を行なった。

### 1. 収支の状況

#### (1) 収益的収支の状況 (3条決算)

収益的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額（5年度）		決算額（6年度）		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
簡易水道事業収益	197,270,688	100.0	227,095,812	100.0	29,825,124	115.1
1. 営業収益	96,459,549	48.9	96,039,244	42.3	△420,305	99.6
2. 営業外収益	100,811,119	51.1	131,056,568	57.7	30,245,449	130.0

収益的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額（5年度）		決算額（6年度）		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
簡易水道事業費	189,519,917	100.0	228,532,093	100.0	39,012,176	120.6
1. 営業費用	181,389,629	95.7	218,063,345	95.4	36,673,716	120.2
2. 営業外費用	8,130,288	4.3	10,468,748	4.6	2,338,460	128.8
3. 特別損失	0	0	0	0	0	0

#### ○収益的収支について

本年度の簡易水道事業収益は 227,095,812 円であり、内訳として水道使用料及び量水器使用料 95,329,244 円、手数料 710,000 円、一般会計繰入金 18,638,000 円、長期前受金戻入 32,077,770 円、受取利息 8,929 円、雑収益 4,396,001 円、補償金（リニア関連）75,935,868 となった。簡易水道事業費用は 228,532,093 円であり、内訳として原水 2,827,064 円、浄水費 20,005,847 円、配水費 79,215,837 円、総係費 11,252,140 円、減価償却費 92,176,597 円、資産減耗費 12,585,860 円、支払利息 6,862,597 円となった。

#### (2) 資本的収支の状況 (4条決算)

資本的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額（5年度）		決算額（6年度）		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
資本的収入	198,330,586	100.0	101,977,990	100.0	△96,352,596	△48.6
1. 企業債	29,600,000	14.9	43,700,000	42.9	14,100,000	147.6
2. 一般会計繰入金	12,000,000	6.1	13,780,000	13.5	1,780,000	114.8
3. 補償金	147,030,586	74.1	29,397,990	28.8	△117,632,596	△80.0
4. 基金繰入金	9,700,000	4.9	15,100,000	14.8	5,400,000	155.7

資本的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、％)

区分 科目	決算額（５年度）		決算額（６年度）		翌年度 繰越額	前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比			
資本的支出	376,128,468	100.0	180,118,982	100.0	244,450,000	△196,009,486	△52.1
1. 建設改良費	290,707,561	63.1	92,033,372	51.1	244,450,000	△198,674,189	△68.3
2. 固定資産購入費	6,485,732	0.3	9,455,050	5.2	0	2,969,318	145.8
3. 企業債償還金	73,717,970	34.4	73,496,631	40.8	0	△221,339	△0.3
4. 基金積立金	5,217,205	2.2	5,133,929	2.9	0	△83,276	△0.2

○資本的収支について

本年度の資本的収入は101,977,900円であり、内訳として企業債43,700,000円、一般会計繰入金13,780,000円、補償金29,397,990円、基金繰入金15,100,000円となった。

資本的支出は180,118,982円であり、内訳として水道施設費54,686,500円、リニア関連水道水源対策事業37,346,872円、固定資産購入費9,455,050円、企業債償還金73,496,631円、基金積立金5,133,929円となった。建設改良費244,450,000円を次年度へ繰越した。

本年度の水道施設費は、老朽化した施設の機器等更新（残留塩素系3箇所、塚野浄水場濁度計、中区浄水場表洗ポンプ2基、塚野浄水場源水弁、三留野浄水場残留塩素・PH計の更新）及び量水器取替工事を行った。

## 2. 事業の実績

### (1) 簡易水道の状況及び実績

区 分		三留野・妻籠	北部	大山・蘭	川向	田立	合計
計画給水人口（人）		1,676人	281人	735人	345人	964人	4,001人
給水区域内現在人口		1,331人	229人	629人	279人	794人	3,262人
現在給水人口（人）		1,321人	225人	629人	279人	793人	3,247人
給水戸数（戸）		625戸	87戸	284戸	124戸	339戸	1,459戸
水源の種類	表流水	1		1		2	4
	伏流水			2	1	1	4
	湧 水	2	4				6
一日平均配水量（m <sup>3</sup> ）		767 m <sup>3</sup>	156 m <sup>3</sup>	463 m <sup>3</sup>	200 m <sup>3</sup>	266 m <sup>3</sup>	
一日最大配水量（m <sup>3</sup> ）		915 m <sup>3</sup>	224 m <sup>3</sup>	593 m <sup>3</sup>	280 m <sup>3</sup>	368 m <sup>3</sup>	
年間配水量（m <sup>3</sup> ）		279,808 m <sup>3</sup>	56,954 m <sup>3</sup>	168,982 m <sup>3</sup>	73,171 m <sup>3</sup>	96,936 m <sup>3</sup>	675,851 m <sup>3</sup>
有収水量（m <sup>3</sup> ）		152,495 m <sup>3</sup>	23,161 m <sup>3</sup>	95,623 m <sup>3</sup>	32,413 m <sup>3</sup>	78,537 m <sup>3</sup>	382,229 m <sup>3</sup>
有収率 令和5年度		62.2％	54.3％	64.0％	43.3％	81.0％	62.8％
有収率 令和6年度		54.5％	40.7％	56.7％	44.3％	81.0％	56.5％

- ・給水原価（水道水 1 m<sup>3</sup>当たりの製造単価） ※リニア事業を除く  
＝経常費用（営業費用＋営業外費用）－長期前受金戻入÷有収水量＝273.2 円（前年度 281.3 円）
- ・供給単価（水道水 1 m<sup>3</sup>当たりの販売単価）  
＝料金収入÷有収水量＝226.7 円（前年度 226.1 円）
- ・資本費  
＝（地方債償還金＋支払利息）÷有収水量＝208.7 円（前年度 208.7 円）

## （２）使用料関係

### ①料金

下記の使用料は平成 30 年度に改定されたものである。人口減に伴う料金収入の減少と施設の老朽化が今後顕著になることが見込まれる中、持続可能な水道事業の経営をしていくため、定期的に料金設定の見直しについて検討していく。

### ②メーター検針業務の外部委託

平成 18 年 4 月からメーター検針業務を町内民間の方 5 名に委託している（検針は 2 ヶ月に 1 回実施）。平成 30 年度からは検針員の業務中の事故について保険対応ができるよう個人委託員傷害保険に加入している。

### ③料金システム

㈱電算の水道料金システムを利用し、料金徴収事務を実施した（平成 18 年 4 月から）。

### ④水道使用料（消費税抜き）

（単位：円）

基本料金			超過料金	
口 径 別	1 ヶ月当たり	円	( 1 m <sup>3</sup> 当たり)	
φ 13mm	10 m <sup>3</sup> まで	1,638	11 ～ 20 m <sup>3</sup>	163
φ 20mm		1,844	21 ～ 40 m <sup>3</sup>	183
φ 25mm		2,152	41 ～ 60 m <sup>3</sup>	224
φ 30mm		2,766	61 m <sup>3</sup> ～	245
φ 40mm		3,380	プール	71
φ 50mm		3,894		
φ 75mm		4,610		

### ⑤量水器使用料（消費税抜き）

（単位：円）

口径別	φ 13mm	φ 20mm	φ 25mm	φ 30mm	φ 40mm	φ 50mm	φ 75mm
1 ヶ月	152	286	306	512	603	2,213	3,565

### ⑥新設改造審査及び検査手数料

（単位：円）

口径別	料金	口径別	料金
φ 13mm	25,000	φ 40mm	38,000
φ 20mm	28,000	φ 50mm	40,000
φ 25mm	34,000	φ 75mm	78,000
φ 30mm	36,000		

### ⑦給水再開手数料

1 件 5,000 円

### ⑧納付方法

使用料の徴収は、現金納付と口座振替納付の 2 種類で対応している。

## ⑨徴収状況

(単位：円)

使用料区分			調定額	収納額	未収額	収納率	不納欠損
水道 使用 料	現年 度分	6 年度	90, 243, 796	89, 294, 828	948, 968	99. 0%	0
		5 年度	90, 974, 923	90, 767, 959	206, 964	99. 8%	0
	過年 度分	6 年度	4, 072, 747	1, 342, 527	2, 730, 220	33. 0%	0
		5 年度	3, 579, 482	1, 000, 234	2, 579, 248	27. 9%	0
	6 年度合計		94, 316, 543	90, 637, 355	3, 679, 188	96. 1%	0
量 水 器 使 用 料	現年 度分	6 年度	5, 085, 448	5, 033, 842	50, 606	90. 0%	0
		5 年度	5, 079, 626	4, 896, 193	183, 433	96. 4%	0
	過年 度分	6 年度	173, 877	54, 678	119, 199	31. 5%	0
		5 年度	164, 506	59, 331	105, 175	36. 1%	0
	6 年度合計		5, 259, 325	5, 088, 520	169, 805	96. 8%	0
6 年度 合計			99, 575, 868	95, 725, 875	3, 848, 993	96. 1%	0

## ⑩滞 納

以下のとおり滞納整理を実施し、過年度分の収納率向上に繋げた。

○現年度のみ滞納がある滞納者へは電話と文書による催促を実施した。

○現年度と過年度に滞納がある滞納者へは、電話と文書による催促に加え臨戸徴収を実施し、状況に応じて給水停止や取立訴訟を行う可能性がある旨の説明を行った。

## (3) 施設維持管理（税込）

## ①主な原水修繕工事

三留野地区水道施設排泥管修繕工事	1,699,500 円
オガバ水源管理道修繕工事	671,000 円

## ②主な浄水場修繕工事（税込）

三留野浄水場ろ過流量計修繕	495,000 円
中区浄水場コンプレッサー修繕	1,210,000 円
大山低区浄水場サンプリングポンプ修繕	220,000 円
中区浄水場残留塩素計修繕	220,000 円

## ③主な配水管修繕工事（税込）

水抜きバルブ取り付け修繕	165,000 円
給水管漏水修繕	46,200 円
田立地区本管修繕	390,000 円

## ④水質管理

給水については毎月の定期項目検査、年1回の全項目検査、年1回の原水全項目検査、クリプト検査のほかに、消毒副生成物検査、臭気物質検査等を実施した。

施設管理については、遠隔監視装置による毎日の監視のほか、週2回各施設の巡回点検を実施した。

#### ⑤汚泥搬出業務

三留野浄水場の汚泥搬出について業務委託により2回実施した。(1月)

合計処理量…7.7t 委託先:(有)田切クリーンセンター 上伊那郡飯島町

※処分汚泥に係る放射性物質測定を実施…各種放射性元素は検出されなかった。

#### (4) 上下水道審議会

1回の審議会を開催した。

◎第1回 … 12月4日(上下水道事業の現況について・小規模水道の現状について・公営企業会計の適用について・リニア中央新幹線計画への対応について)

#### (5) 建設改良事業

- ・令和6年度 妻籠・本谷・岩倉低区配水池 残留塩素計更新工事  
工事費 5,830千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和6年度 中区浄水場 No. 1, 2 表洗ポンプ更新工事  
工事費 3,025千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和6年度 大山区浄水場ろ過灰注入設備更新工事  
工事費 3,245千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和6年度 塚野浄水場設備更新工事(原水弁・濁度計)  
工事費 3,509千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和6年度 三留野浄水場機器更新工事(残留塩素計・Ph測定器)  
工事費 3,630千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和6年度 上在郷地区配水管布設工事【第1工区】  
工事費 22,880千円(請負者:田口土木(有))
- ・令和6年度 南木曾町簡易水道上在郷地区配水管布設工事実施設計委託業務  
委託料 1,705千円(請負者:共和設計㈱)

#### (6) リニア中央新幹線工事にかかる水道水源対策(リニア補償金事業)

○令和5年度リニア関連水道水源予備的措置水道管布設工事の第10-1工区・第10-2工区を発注し完了した。

- ・第10-1工区 配水管布設工事 工事費 19,396千円 請負者:(株)名工土木
- ・第10-2工区 配水管布設工事 工事費 12,265千円 請負者:(株)名工土木

○令和6年度工事で浄水施設築造工事の第10-3工区、配水管布設工事の第9-1工区・第9-2工区・第9-3工区を発注した。

#### (7) 量水器定期取替工事

- ・第6-1工区 読書地区 244個 工事費 1,750千円 請負者:太田工業
- ・第6-2工区 吾妻地区 292個 工事費 1,958千円 請負者:(有)志泉設備
- ・第6-3工区 田立地区 247個 工事費 1,550千円 請負者:(株)松宮

#### (8) 地方公営企業法適用推進

令和3年度に特別会計から公営企業会計へ移行した。

(9) 今後の問題点・課題等

簡易水道区域内人口における給水人口は 99%と高い水準ではあるが、小規模水道・個人水道による給水人口が 400 人となっていることから簡易水道拡張について引き続き検討する必要がある。

施設は老朽化（北部簡易水道施設 S 5 4 年）による影響から有収率が 56.5%と低い状況で、料金収入も減少（前年比 99%）していることから、供給単価が上昇傾向となっている。

公営企業会計へ移行したことで、より緻密な経営分析が可能となり、令和 5 年度に策定した経営戦略に基づいた一層の事業経営の合理化、効率化、将来の改修等に向けた計画を進めるとともに、今後膨大な費用が見込まれる施設更新・改修、維持管理費については、ますます一般会計への依存率が大きくなると予測されることから、料金改定も視野に入れる必要がある。

また、下水道事業と合わせ、民間のノウハウや創意工夫を活用した官民連携（PPP/PFI 手法）の活用なども模索していく必要がある。

### 3. 地方債の状況

#### 地方債の償還額及び未償還金元金残高

（単位：円）

起債名	5 年度末	6 年度中増減		6 年度末
	未償還元金	借入金	償還元金	未償還元金
辺地対策事業債	1,200,241		300,016	900,225
過疎対策事業債	22,226,177	21,100,000	2,998,189	40,327,988
川向簡易水道事業債	8,354,974		960,397	7,394,577
大山・蘭簡易水道事業債	67,881,349		8,132,601	59,748,748
田立簡易水道事業債	221,225,455		24,552,503	196,672,952
北部簡易水道事業債	3,756,681		474,987	3,281,694
三留野・妻籠簡易水道事業債	142,834,220	22,600,000	28,139,666	137,294,554
補正予算債	2,533,601		554,564	1,979,037
公営企業会計適用債	9,631,250		1,600,000	8,031,250
災害復旧債	14,009,360		5,783,708	8,225,652
合 計	493,653,308	43,700,000	73,496,631	463,856,677

## (別表1)

## 令和6年度簡易水道関係主要事業

(単位：千円)

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳							備考
				国庫支出金	県出支金	地方債	繰入金	繰越金	一般財源	その他	
○施設更新改良事業											
令和6年度 残留塩素計更新工事(妻籠 本谷 岩倉低区)	町	工事 一式	5,830			5,830					
令和6年度 中区浄水場No.1,2表洗ポンプ更新工事	町	工事 一式	3,025			3,025					
令和6年度 大山高区浄水場ろくろ灰注入設備更新工事	町	工事 一式	3,245			3,245					
令和6年度 塚野浄水場設備更新工事 (原水弁・濁度計)	町	工事 一式	3,509			3,500			9		
令和6年度 三留野浄水場機器更新工事 (残留塩素計・Ph測定器)	町	工事 一式	3,630			3,600			30		
令和6年度 上在郷地区配水管布設工事【第1工区】 (詳細設計業務委託含)	町	工事 一式	24,585			24,500			85		
施設更新改良事業合計			43,824	0	0	43,700	0	0	124	0	
○リニア建設関連水道水源対策事業											
令和5年度 リニア関連水道水源予備的措置 水道管布設工事第10-1工区	町	工事 一式	19,396							19,396	令和5年度からの繰越 その他：補償費
令和5年度 リニア関連水道水源予備的措置 水道管布設工事第10-2工区	町	工事 一式	12,265							12,265	令和5年度からの繰越 その他：補償費
リニア建設関連水道水源対策事業合計			31,661	0	0	0	0	0	0	31,661	
合 計			75,485	0	0	43,700	0	0	124	31,661	